

地域/地区カルテ

～地域/地区活動のために活用しよう～



フェイスシート

地域/地区名 : _____

担当保健師 : _____

<地域/地区の目標/理念>

作成(更新)日 : _____

1. 成り立ち

2. 地理的特徴

地図 (面積 km²) 資源マップ

産業

自然・地理・気候等

メモ

3. 住民の構成

人口構成	地域/地区	自治体
総人口	人	人
性別 男	人	人
女	人	人
年齢 年少	%	%
壮年	%	%
高齢者	%	%
75歳以上	%	%
外国人	人	人
世帯構成	地域/地区	自治体
総世帯数	世帯	世帯
高齢世帯	世帯	世帯
高齢独居	世帯	世帯
高齢夫婦	世帯	世帯
ひとり親家庭	世帯	世帯

参考資料：10年前の地域/地区

人口構成	自治体
総人口	人
性別 男/女	人
年齢3区分	%
総世帯数	世帯

4. 健康状態とくらし

地域/地区	自治体	参考資料：10年前の地域/地区
全体	例) 死亡数	健康
子育て	例) 出生数	死亡数 (率)
壮年期	例) 健診受診率	出生数 (率)
高齢者	例) 要介護者数	
くらし向き	例) 生保世帯数	

人々の暮らしに関して観察したこと・聞き取ったこと

5. 文化と社会関係

地域/地区の特徴的な価値観:

近隣関係・人間関係:

その他(地域/地区における健康を増進する要因・阻害する要因等を含む):

メモ

文化と社会関係に関して観察したこと・聞き取ったこと

自由記載

日付

見直し・修正をした記録等

/
/
/
/

6. 地域/地区内の主要な人的・組織資源

メモ

民生委員：
キーパーソン 町内会役員：
保健推進員：
他

集える場：

機関・組織：

関連図等

地域/地区内の主要な人的・組織資源に関して観察したこと・聞き取ったこと

7. 地域/地区の人が活用する主要な健康関連資源

メモ

医療機関・施設

保健・福祉施設や
機関

教育施設や機関

その他

8. その他

自由記載

日付

見直し・修正をした記録等

/

/

/

日々の記録：地域/地区に関する気づき・地域/地区の課題に対する実践

(日付)	#課題 番号	実施したこと	地域/地区に関する気づき・実践の結果

サマリーシート：地域/地区の強み・弱みの整理と地域/地区活動の実施

[]地域/地区 担当者[] 年 月 日

地域/地区の目標・理念（フェイスシートより）	自治体の理念・将来像
	<p>（各自治体で掲げられているもの）</p>
要約（アセスメント）	地域/地区の人々が活用する健康関連資源や環境（フェイスシート・日々の記録から抽出）
<p>頻度の多い問題、類似性・関連性のある問題、重要な問題などをフェイスシートや日々の記録から抽出</p>	<p>地域/地区組織・関係機関・キーパーソン（相談できること・できないこと、人柄など）</p> <hr/> <p>人々の価値観・交流、集える場</p> <hr/> <p>地理的環境、交通の利便性</p> <hr/> <p>その他</p>
課題	課題の位置づけ： 国や自治体の政策・動向をみてみよう
	<p>各種計画、首長の施政方針、法的根拠、国の施策など（課題の重要度、優先度の判断や戦略に生かせる）</p>

短期目標			
一年後の地域/地区の人々の目指す姿			
今年度の計画			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標達成に向けた戦略 ・ 地域/地区の強みを生かした対策 ・ 健康課題への対応 			
評価指標、評価時期（地域/地区のレベル）			
	指標	評価日	結果
実施したこと			
改善したこと			
次年度の健康課題			
1. 2. 3.			

地域/地区カルテ

～地域/地区活動のために活用しよう～

活用マニュアル

【地域/地区カルテ活用の目的】

日頃の活動の中に埋もれがちな気づきに意識を向け、それを言葉にしていくプロセスから、地域特性に応じた保健活動をつくりだすことです

〈このカルテを使用することの利点〉

- 系統的に地域/地区の情報を得て、早期に地域/地区全体の概要を捉えることができます
- 埋もれがちな気づきから課題を見出し、解決のためのプロセスを踏むことができます
- 地域/地区の実態・課題を把握し、その情報を住民、関係機関、自治体内で共有し、協働に役立てることが出来ます
- 地域/地区の情報を経年的に蓄積し、地域/地区の引継ぎ時等に活用することができます

【地域/地区活動カルテの構成】

3つのシートから成り立っています。

1. フェイスシート
2. 日々の記録
3. サマリーシート

STEP 1 担当地域/地区の概要を知る（フェイスシート）

記入時期：使い始め

日々の記録（後出）を書きながら、情報追加の必要性を感じた時

- ① 8項目を眺めて地域/地区を振り返る。
- ② 書いてみようと思う項目を埋めてみる。
- ③ 項目を埋めながら思い浮かんだことを自由に「メモ」に書いてみる。

※ 単語だけ、箇条書きもOK

フェイスシート

地域/地区名：

担当保健師： _____

<地域/地区の目標/理念>

作成(更新)日： _____

地域/地区の目標や理念は言葉になっていますか？

1. 成り立ち

地域/地区は歴史的にどのようにして発展し、今後どうなっていくのでしょうか。

2. 地理的特徴

地図 (面積 km²) 資源マップ

産業

自然・地理・気候等

- ・ 地理的、気候的に特筆すべきことはあるか
- ・ 自治体における地理的位置
- ・ 主要な施設、道路、交通関連などの状況はどうか

メモ

項目に関連して、「あ!」「お!」「ん?」「あれ?」を感じたこと、気づいたこと、思い浮かんだこと、考えたこと等、その都度なんでも自由に記載します。
★単語・箇条書きでOK

- ・ どれくらいの人に住んでいるのか
- ・ 地域/地区の人口はどのように変化しているのか
- ・ 地域/地区の世帯構成はどうなっているのか
- ・ リスクを抱える家族はどれくらいか

※分かるところを埋めてみる

3. 住民の構成

人口構成	地域/地区	自治体
総人口	人	人
性別 男	人	人
女	人	人
年齢 年少	%	%
壮年	%	%
高齢者	%	%
75歳以上	%	%
外国人	人	人
世帯構成	地域/地区	自治体
総世帯数	世帯	世帯
高齢世帯	世帯	世帯
高齢独居	世帯	世帯
高齢夫婦	世帯	世帯
ひとり親家庭	世帯	世帯

参考資料：10年前の地域/地区

人口構成	地域/地区	自治体
総人口	人	人
性別 男/女	/	人
年齢3区分	/	/ %
総世帯数	世帯	

4. 健康状態とくらし

地域/地区	自治体	参考資料：10年前の地域/地区
全体	例) 死亡数	健康
子育て	例) 出生数	死亡数(率)
壮年期	例) 健診受診率	出生数(率)
高齢者	例) 要介護者数	
くらし向き	例) 生保世帯数	

- 全体的な健康のレベルはどうか
 - 子育てに関すること
 - 壮年期の生活と健康に関すること
 - 高齢者の生きがい、介護に関すること
 - 人々の生活レベルの程度はどうか
- ※分かるところを埋めてみる

人々の暮らしに関して観察したこと・聞き取ったこと

「観察したこと・聞き取ったこと」を自由に記載します。

5. 文化と社会関係

地域/地区の特徴的な価値観

- 地域/地区の特徴的な価値観はあるのか
- 地域/地区の人々の人間関係・近隣関係はどうか

近隣関係・人間関係:

その他(地域/地区における健康を増進する要因・阻害する要因等を含む):

メモ

項目に関連して、「あ!」「お!」「ん?」「あれ?」を感じたこと、気づいたこと、思い浮かんだこと、考えたこと等、その都度なんでも自由に記載します。

★単語・箇条書きでOK

文化と社会関係に関して観察したこと・聞き取ったこと

「観察したこと・聞き取ったこと」を自由に記載します。

自由記載

日付

/
/
/

見直し・修正をした記録等

6. 地域/地区内の主要な人的・組織資源

キーパーソン	民生委員:
	町内会役員:
	保健推進員:
	他
集える場:	
機関・組織:	
関連図等	
地域/地区にとって大事な組織・機関・人物とのつながりが見える化	

メモ

項目に関連して、「あ!」「お!」「ん?」「あれ?」を感じたこと、気づいたこと、思い浮かんだこと、考えたこと等、その都度なんでも自由に記載します。
★単語・箇条書きでOK

- ・地域/地区活動のためのキーパーソンは誰か
- ・地域/地区の人が集える場はどこか
- ・地域/地区活動のために挨拶しておくべき機関や組織は何か

地域/地区内の主要な人的・組織資源に関して観察したこと・聞き取ったこと

「観察したこと・聞き取ったこと」を自由に記載します。

7. 地域/地区の人が活用する主要な健康関連資源

医療機関・施設
保健・福祉施設や機関
教育施設や機関
その他

地域/地区の人が活用する主要な医療機関などは何か

メモ

項目に関連して、「あ!」「お!」「ん?」「あれ?」を感じたこと、気づいたこと、思い浮かんだこと、考えたこと等、その都度なんでも自由に記載します。
★単語・箇条書きでOK

8. その他

地域/地区にとって重要と考えることは何か

自由記載

日付

/
/
/
/

見直し・修正をした記録等

STEP 2 毎日の活動の中での気づきを書く (日々の記録)

記入時期：随時

※できる範囲で

例えば ★ 1回 2~3行

★ 毎回でなくてよい（一週間に2~3回）

★ 地域/地区活動した時に1つだけ など

- ① 気づいたこと（「あ!」「お!」「ん?」「あれ?」）をその都度書き留める。
- ② ①で重要だと思うことをその都度フェイスシートに追加する。
- ③ ①の気づきについて考えたことや行ったことを「→」で記入する。

日々の記録：地域/地区に関する気づき・地域/地区の課題に対する実践（記入例）

(日付)	#課題 番号	実施したこと	地域/地区に関する気づき・実践の結果
A月X日	(課題に挙げている場合に記入)	家庭訪問	<p>地域/地区に関する気づき：〈家庭訪問〉を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもを安心して遊ばせる場が見つからない(相談内容) ・相談できるひとがない(相談内容) ・新興住宅地で公園がない(訪問経路での情報収集) ・家庭訪問の帰路の保育所での情報収集 <p>地域/地区情報の参照</p> <p>③考えたこと → <input type="checkbox"/> 子育て相談の場は？ <input type="checkbox"/> 近くの保育所で子育て相談を実施している</p> <p>③行ったこと → <input type="checkbox"/> 相談件数・相談内容は？ <input type="checkbox"/> 関連データ確認・フェイスシート追記</p>
A月Z日	(課題に挙げている場合に記入)	地域/地区組織の支援	<p>地域/地区に関する気づき：〈地域/地区組織の支援〉を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人々の生活文化や価値観 祭りが頻繁に開かれる。地域/地区の住民が楽しむだけでなく、地域/地区外から来る人々をもてなし、一緒に楽しむことを大切にしている。 ・地域/地区組織の特徴・強み 住民の「地域/地区の住民」としての意識が強く、地域/地区としての活動が盛ん。 ・社会資源としてどのように活用できるか ・地域/地区組織に必要な支援 <p>地域/地区情報の参照</p> <p>→ <input type="checkbox"/> 関連データ確認・フェイスシート追記</p>
A月W日	(課題に挙げている場合に記入)	あいさつ回り、担当者会議	<p>地域/地区に関する気づき：〈関係機関の挨拶回り〉を通して :〈連携会議、担当者会議〉を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内関係部署の状況 地域/地区で保健師がコラボできそうな事業を計画中。 ・関係機関の状況 地域/地区で住民と催しを共催し、キーパーソンとのつながりが強い。 ・ケアシステムの課題 ・会議資料や検討内容からの気づき <p>地域/地区情報の参照</p> <p>→ <input type="checkbox"/> 関連データ確認・フェイスシート追記 <input type="checkbox"/> 住民の意識は？ <input type="checkbox"/> インタビューやアンケートの実施を計画</p>
B月Y日	課題番号 #1 #3 #5 (複数の課題も可)	(地域/地区組織)と活動内容を情報交換	<p>地域/地区に関する気づき：地域/地区組織との活動内容に関する情報交換と地域/地区の課題や将来像について話し合いを通して。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 子育て支援を活動内容としているが、担い手が不足しているか。 <input type="checkbox"/> 地域/地区に活動の場を求めている高齢者もいるのではないか。 <input type="checkbox"/> 活動を主体的にしたい人、交流のみを望んでいる人、など、それぞれのニーズにあった参加ができる場が必要。 <input type="checkbox"/> 関連データ確認・フェイスシート追記

気づきについて「考えたこと」「行ったこと」を「→」で記入する。

STEP 3 地域/地区の強み・弱みの整理と地域/地区活動の実施 (サマリーシート)

記入時期

使用開始～1 か月後：地域/地区の目標・理念、要約（アセスメント）、課題、今年度の計画、
評価指標、評価時期

使用開始～3 か月後：評価指標、評価の時期（地域/地区レベル）、次年度の健康課題（修正があれば）

使用開始～6 か月後：評価指標、評価の時期（地域/地区レベル）、次年度の健康課題（修正があれば）

まず3 か月を1 クールとして一回実施し、6 か月後にもう一度見直す！

自治体の理念・将来像に照らして、地域/地区の目的・理念と結び付けて考える

- ① フェイスシートと日々の記録を見返し、地域/地区の課題、強み、弱みを整理する。
- ② 次年度の健康課題は、優先順位と実現可能性を考え、立ててみる。

サマリーシート：地域/地区の強み・弱みの整理と地域/地区活動の実施（記入例）

[] 地域/地区 担当者 [] 年 月 日

地域/地区の目標・理念（フェイスシートより）	自治体の理念・将来像
<p>例：身近に生活する人々が暮らしと生きがいをともに創る</p>	<p>（各自治体で掲げられているもの）</p> <p>フェイスシートに記載した地域/地区の目標・理念を記載します。</p>
<p>要約（アセスメント）</p> <p>頻度の多い問題、類似性・関連性のある問題、重要な問題などをフェイスシートや日々の記録から抽出</p>	<p>地域/地区の人々が活用する健康関連資源や環境（フェイスシート・日々の記録から抽出）</p> <p>地域/地区組織・関係機関・キーパーソン（相談できること・できないこと、人柄など）</p> <p>人々の価値観・交流、集える場</p> <p>地理的環境、交通の利便性</p> <p>その他</p>
<p>課題</p> <p>例：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者が孤立している 2. 高齢者が地域で生き生きと暮らしたい 3. 育児不安をもつ母親が多い 4. 親子が健やかに生き生きと暮らしたい 5. 親亡き後に不安をもつ障がい者が多い 6. 障がい者が社会に参加し生き生き暮らしたい 	<p>課題の位置づけ：</p> <p>国や自治体の政策・動向をみてみよう</p> <p>各種計画、首長の施政方針、法的根拠、国の施策など（課題の重要度、優先度の判断や戦略に生かせる）</p>

フェイスシートと日々の記録を見返し、地域/地区の強み、弱みの視点から課題を整理し、記載します。

フェイスシートと日々の記録を見返し、項目ごとに整理します。

国や自治体の政策や動向に照らして書けそうなところを書いてみます。

短期目標

一年後の地域/地区の人々の目指す姿 例：子ども、高齢者、障害者等だれもが集える場ができ人々がつながる

今年度の計画

- ・ 目標達成に向けた戦略
- ・ 地域/地区の強みを生かした対策
- ・ 健康課題への対応

短期目標を達成するための対応策
地域/地区の強みを生かす視点を！

例：

- 1) (地域/地区組織)と活動内容を情報交換し、地域/地区の健康課題や将来像について話し合う。
- 2) (地域/地区組織)と共有した将来像の実現に向けて取り組めることを話し合う。
- 3) (関係機関)との情報交換を通して、地域/地区の健康課題や将来像について話し合う。
- 4) (関係機関)と共有した将来像の実現に向けて取り組めることを話し合う。
- 5) 1)～4)で関係づくりが進んだ(地域/地区組織)や(関係機関)等で顔を合わせ、協働した取り組みについて話し合う。
- 6) 協働した取り組みとして、(地域/地区組織)や(関係機関)と協働し(集える場)を活用した方法を相談する。
- 7) 上記の取り組みや地域の健康関連資源に関する情報を住民に普及する機会や方法を話し合う。
- 8) (地域/地区組織)や(関係機関)と協働して、企画した取り組みを普及する。

評価指標、評価時期 (地域/地区のレベル)

指標		評価日	結果
実施したこと	例： (地域/地区組織)と話し合う機会 (地域/地区組織)のキーパーソンの把握 (関係機関)と話し合う機会 (関係機関)のキーパーソンの把握 (地域/地区組織)や(関係機関)と集まって話し合う場の設定 (地域/地区組織)や(関係機関)との健康課題や将来像の共有 (地域/地区組織)や(関係機関)と協働した取り組みの話し合い (地域/地区組織)や(関係機関)と協働した取り組みの普及の種類・頻度		
改善したこと	例： 集う場の利用者数 集う場を利用した人々の変化 人々のネットワークの変化 (参加時の様子・アンケートやインタビュー等) 相談相手のいる高齢者の割合(市民調査の地域/地区別結果) 虐待高齢者把握件数(地域包括支援センター把握件数) 育児について相談できる人がいる割合(市民調査の地域/地区別結果) 育児不安を持つ母親の割合(市民調査の地域/地区別結果) 虐待相談件数(児童相談所、児童福祉課把握件数) 虐待対応ケースの数(保健師の業務報告) 活動の場をもつ障害者の割合(個別事例の件数、市民調査の地域/地区別結果)		

計画したことについて、年度内で実施したこと・改善したことを記載します。

次年度の健康課題

- 1.
- 2.
- 3.

次年度の健康課題は、優先順位と実現可能性を考え、立てていきます。

Q&A

【全体】

Q：書くことが多すぎてまとまりません。

A：まずは、書けそうなところから書きましょう。箇条書きやメモで構いません。まとめることが目的ではありませんので、まずやってみましょう。

Q：大事だと思える情報はあるのですが、どの項目にあてはまるのかがわかりません。

A：自分で関連しそうだと思うところに記載してください。

Q：時期は指定された時期に必ず実施しなければいけませんか。

A：できるだけその時期を目安にしてください。変化のあった時期や年度の区切り等にも見直しをしてください。

【フェイスシート】

Q：メモはどんな風に使用しますか

A：どこに分類したらいいかわからない項目や、記入していて思いついたことなどを自由に記載してください。

【日々の記録】

Q：日々の記録はどんなタイミングで書いたらいいでしょうか。毎回書かなければいけませんか。

A：地域/地区に関する活動を行ったとき（電話・来所相談も含む）に記載してください。個別の住民支援や個々の地域/地区に関する活動から読み取れる地域/地区全体の課題に焦点をあてて記載してください。

Q：日々の記録に書く内容は、ケース記録とどう違いますか。

A：地域/地区に関する活動を行ったとき（電話・来所相談も含む）に記載してください。個別の住民支援や個々の地域/地区に関する活動から読み取れる地域/地区全体の課題に焦点をあてて記載してください。

Q：母子、成人、精神に関する内容は同じ項目に記載していいでしょうか。

A：地域/地区全体を把握することが目的ですので、まずは分けずに記載してください。

ご質問は、chikukarute@slcn.ac.jp までご連絡ください。

本日のプログラム

(所要時間 30 分)

時 間	プ ロ グ ラ ム
13:00～13:05 (5 分)	地域特性に応じた保健活動の推進について
13:05～13:15 (5 分)	地区活動カルテ作成のプロセス
13:15～13:25 (15 分)	地区活動カルテの書き方
13:25～13:30 (5 分)	まとめ

自治体 宛て

「地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発 -保健活動ツールの試行と評価-

ご協力をお願い

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本研究班は、厚生労働省科学研究費補助金の助成を受けて、「地域における保健師の保健活動に関する指針」の効果的な推進のために「地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発」に取り組んでおります。

本研究は、研究班が試作した保健活動ツール「地区活動カルテ」を自治体で試用して評価を行い、ツールの修正を行うことを目的としています。貴自治体の保健師の皆様には、実際に試作した地区活動カルテを使用いただき、ご意見やご感想をお寄せいただきたいと思います。

本研究の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力くださいますようお願い申し上げます。

本研究でご協力をお願いするのは、統括保健師と、受け持ち地区をもつ常勤保健師の皆様です。

具体的に保健師の皆様をお願いしたいことは以下のことです。

1. 統括保健師には、貴自治体および貴施設の基礎情報に関する調査票にお答えいただきます。
2. 研究協力に同意していただいた保健師の方を、「地区活動カルテを使用するグループ」「地区活動カルテを使用しないグループ」の2つに無作為に振り分けをさせていただきます。
3. 地区活動カルテを使用するグループは、カルテを使用するための研修プログラム（30分）に参加し、実際に地区活動カルテを6か月間使用していただきます。
4. 地区活動カルテを使用しないグループには、通常の保健活動を継続していただきます。6か月経過後に、カルテを使用するグループが受けたものと同じ研修プログラムを受け、地区活動カルテを使用する機会を設定いたします（この時に参加されるかどうかは任意です）。
5. どちらのグループとも、研究開始時と開始6か月後にアンケートにお答えいただきます。それに加えて、カルテを使用するグループには、開始3か月・6か月の時点で、グループインタビューとアンケートにご協力いただきます。

研究協力に際して以下のことをお約束いたします。

1. 参加は保健師の皆様の自由な意思によって決めていただくものです。研究協力に同意された場合も、保健師の皆様にはどのような理由でも途中で参加を辞退できる権利があります。保健師の皆様の研究協力への参加の有無は職場や上司に報告されることはありません。研究に協力されない場合も、途中で協力を辞退された場合でも、保健師の皆様の職場内の評価には全く関係はなく、一切不利益のないことを保証いたします。本研究に参加するメリットは保健活動における地区のとらえ方について学ぶ機会が得られることであり、デメリットは研修プログラム参加や地区活動カルテ作成のために時間が拘束されることです。
2. 研究で得られた内容は、本研究目的以外では一切使用いたしません。研修プログラムやアンケート・インタビューは研究として実施するものであり、貴施設や保健師の皆様の評価などとは無関係です。研究で得られたデータは本研究の研究者のみが利用し、その他の者・機関に提供することはございません。
3. 地区活動カルテの使用前、使用后3か月、使用后6か月でのアンケートの回答内容を、結び付けて比較分析するため、保健師の皆様のアンケートには同一人物の回答であることを認識するための番号が記載されています。研究班のなかに認識番号の管理・保管のみを行う専属の担当者をおき、研究メンバーが対応表にアクセスできないようにいたします。
4. 保健師の皆様へのアンケートでは、次の内容（ご回答者の年代、性別、ご所属種別、資格、職位、経験年数、保健師活動や住民に対する保健師の意識。地区活動カルテを使用するグループについては、

地区活動カルテについてのご意見) についてご回答をお願いします。得られたデータは質的・量的に分析します。

5. グループインタビューの内容は録音させていただきます。テープから記録を起す際にも匿名で行い、自治体名や施設名、個人のお名前が出ることは一切ありません。インタビュー実施後に研究協力を辞退された場合は、録音内容の逐語録からご本人の発言箇所を削除いたします。
6. 調査票とデータは ID 化し、無記名の調査票とデータを保存した電子媒体は、施錠できる場所に保管して厳重に管理し、研究成果公表後 5 年後に破棄いたします。
7. この研究の成果を活用していただくため、学会や学術雑誌で発表させていただきます。その際も、匿名性を確保いたします。

以上の内容をご理解いただき、本研究にご協力頂きたく、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

研究計画および研究方法についてご不明な点やご質問などがございましたら、以下の研究責任者まで電話またはメールでご連絡ください。皆様の個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。研究に関するお問い合わせは下記の連絡先までお願いいたします。

本調査は聖路加国際大学研究倫理審査委員会での承認を受けて実施しております。承認番号 (17-A106)
本研究には利益相反に相当する事項はございません。

◇ 研究組織

〈研究代表者〉 麻原きよみ (聖路加国際大学大学院看護学研究科・教授)
〈分担研究者〉 佐伯和子 (北海道大学大学院保健科学研究院・教授)
大森純子 (東北大学大学院医学系研究科保健学専攻・教授)
永田智子 (慶応義塾大学看護医療学部・教授)

平成 30 年度厚生労働科学研究費補助金 (健康安全・危機管理対策総合研究事業) 研究
地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発 (H28-健危-一般-003)

【研究責任者・お問い合わせ先】

聖路加国際大学大学院看護学研究科 公衆衛生看護学 麻原きよみ
〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1
Tel/Fax : 03-5550-2271 (直通)
e-mail: asahara@slcn.ac.jp

統括保健師の皆様

「地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発 -保健活動ツールの試行と評価-

ご協力をお願い

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本研究班は、厚生労働省科学研究費補助金の助成を受けて、「地域における保健師の保健活動に関する指針」の効果的な推進のために「地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発」に取り組んでおります。

本研究は、研究班が試作した保健活動ツール「地区活動カルテ」をモデル自治体で試用して評価を行い、ツールの修正を行うことを目的としています。今回の研究では、本研究にご協力いただいている自治体に属している、統括保健師の方と、受け持ち地区をお持ちの常勤保健師の皆さまに研究協力をお願いをさせていただきます。貴施設の保健師の皆様には、実際に試作した地区活動カルテを使用していただき、ご意見やご感想をお寄せいただきたいと思います。

本研究の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力くださいますようお願い申し上げます。

本研究でご協力をお願いするのは、統括保健師と、受け持ち地区をもつ常勤保健師の皆様です。

具体的に保健師の皆様をお願いしたいことは以下のことです。

1. 統括保健師のかたには、貴自治体および貴施設の基礎情報に関する調査票にお答えいただきます。
2. 統括保健師のかたには、貴施設内の受け持ち地区をもつ常勤保健師の皆様へ、研究依頼書類一式の配布をお願いいたします。なお、研究協力同意確認書やアンケートの回収は個別に郵送にて返送して頂くため、統括保健師の方が回収・取りまとめをすることはありません。各常勤保健師の参加の有無は統括保健師に報告することは無い旨を常勤保健師の皆様にもご説明しますが、研究参加への強制力が生じないようご配慮をお願いします。
2. 研究協力を同意していただいた保健師の方を、「地区活動カルテを使用するグループ」「地区活動カルテを使用しないグループ」の2つに無作為に振り分けをさせていただきます。
3. 地区活動カルテを使用するグループは、カルテを使用するための研修プログラム（30分）に参加し、実際に地区活動カルテを6か月間使用していただきます。
4. 地区活動カルテを使用しないグループには、通常の保健活動を継続していただきます。6か月経過後に、カルテを使用するグループが受けたものと同じ研修プログラムを受け、地区活動カルテを使用する機会を設定いたします（この時に参加されるかどうかは任意です）。
5. どちらのグループとも、研究開始時と開始6か月後にアンケートにお答えいただきます。それに加えて、カルテを使用するグループには、開始3か月・6か月の時点で、グループインタビューとアンケートにご協力いただきます。

研究協力に際して以下のことをお約束いたします。

1. 参加は保健師の皆様の自由な意思によって決めていただくものです。研究協力を同意された場合も、保健師の皆様にはどのような理由でも途中で参加を辞退できる権利があります。保健師の皆様の研究協力への参加の有無は職場や上司に報告されることはありません。研究に協力されない場合も、途中で協力を辞退された場合でも、保健師の皆様の職場内の評価には全く関係はなく、一切不利益のないことを保証いたします。本研究に参加するメリットは保健活動における地区のとらえ方について学ぶ機会が得られることであり、デメリットは研修プログラム参加や地区活動カルテ作成のために時間が拘束されることです。
2. 研究で得られた内容は、本研究目的以外では一切使用いたしません。研修プログラムやアンケート・インタビューは研究として実施するものであり、貴施設や保健師の皆様の評価などとは無関係です。研究で得られたデータは本研究の研究者のみが利用し、その他の者・機関に提供することはござい

せん。

3. 地区活動カルテの使用前、使用后3か月、使用后6か月でのアンケートの回答内容を、結び付けて比較分析するため、保健師の皆様のアンケートには同一人物の回答であることを認識するための番号が記載されています。研究班のなかに認識番号の管理・保管のみを行う専属の担当者をおき、研究メンバーが対応表にアクセスできないようにいたします。
4. 保健師の皆様へのアンケートでは、次の内容（ご回答者の年代、性別、ご所属種別、資格、職位、経験年数、保健師活動や住民に対する保健師の意識。地区活動カルテを使用するグループについては、地区活動カルテについてのご意見）についてご回答をお願いします。得られたデータは質的・量的に分析します。
5. グループインタビューの内容は録音させていただきます。テープから記録を起す際にも匿名で行い、自治体名や施設名、個人のお名前が出ることは一切ありません。インタビュー実施後に研究協力を辞退された場合は、録音内容の逐語録からご本人の発言箇所を削除いたします。
6. 調査票とデータはID化し、無記名の調査票とデータを保存した電子媒体は、施錠できる場所に保管して厳重に管理し、研究成果公表後5年後に破棄いたします。
7. この研究の成果を活用していただくため、学会や学術雑誌で発表させていただきます。その際も、匿名性を確保いたします。

以上の内容をご理解いただき、「常勤保健師数記入用紙」を平成30年5月●日（●）までに、同封の返信用封筒にてご返送ください。

研究計画および研究方法についてご不明な点やご質問などがございましたら、以下の研究責任者まで電話またはメールでご連絡ください。皆様の個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。研究に関するお問い合わせは下記の連絡先までお願いいたします。

ボールペンは謝礼ですので、どうぞご活用ください。

本調査は聖路加国際大学研究倫理審査委員会での承認を受けて実施しております。承認番号（17-A106）
本研究には利益相反に相当する事項はございません。

◇ 研究組織

〈研究代表者〉 麻原きよみ（聖路加国際大学大学院看護学研究科・教授） 〈分担研究者〉 佐伯和子（北海道大学大学院保健科学研究院・教授） 大森純子（東北大学大学院医学系研究科保健学専攻・教授） 永田智子（慶応義塾大学看護医療学部・教授）
--

平成30年度厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）研究
地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発（H28-健危-一般-003）

【研究責任者・お問い合わせ先】

聖路加国際大学大学院看護学研究科 公衆衛生看護学 麻原きよみ
〒104-0044 東京都中央区明石町10-1
Tel/Fax : 03-5550-2271（直通）
e-mail: asahara@slcn.ac.jp

保健師の皆様

「地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発 -保健活動ツールの試行と評価-

ご協力をお願い

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本研究班は、厚生労働省科学研究費補助金の助成を受けて、「地域における保健師の保健活動に関する指針」の効果的な推進のために「地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発」に取り組んでおります。

本調査は、研究班が試作した保健活動ツール「地区活動カルテ」を自治体で試用して評価を行い、ツールの修正を行うことを目的としています。今回の研究では、本研究にご協力いただいている自治体に属している、受け持ち地区をお持ちの常勤保健師の皆さまに研究協力をお願いをさせていただきます。皆様には、実際に試作した地区活動カルテを使用していただき、ご意見や感想をお寄せいただきたいと思います。

本調査の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力くださいますようお願い申し上げます。

具体的に皆様にお願ひしたいことは以下のことです。

1. 研究協力に同意していただいた方を、「地区活動カルテを使用するグループ」「地区活動カルテを使用しないグループ」の2つに無作為に振り分けさせていただきます。
2. 地区活動カルテを使用するグループは、カルテを使用するための研修プログラム（30分）に参加し、実際に地区活動カルテを6か月間使用していただきます。
3. 地区活動カルテを使用しないグループには、通常の保健活動を継続していただきます。6か月経過後に、カルテを使用するグループが受けたものと同じ研修プログラムを受け、地区活動カルテを使用する機会を設定いたします（この時に参加されるかどうかは任意です）。
4. どちらのグループとも、研究開始時と開始6か月後にアンケートにお答えいただきます。それに加えて、カルテを使用するグループには、開始3か月・6か月の時点で、グループインタビューとアンケートにご協力いただきます。

研究協力に際して以下のことをお約束いたします。

1. 参加は皆様の自由な意思によって決めていただくものです。研究協力に同意された場合も、皆様にはどのような理由でも途中で参加を辞退できる権利があります。皆様の研究協力への参加の有無は職場や上司に報告されることはありません。研究に協力されない場合も、途中で協力を辞退された場合でも、保健師の皆様の職場内の評価には全く関係はなく、一切不利益のないことを保証いたします。本研究に参加するメリットは保健活動における地区のとらえ方について学ぶ機会が得られることであり、デメリットは研修プログラム参加や地区活動カルテ作成のために時間が拘束されることです。
2. 研究で得られた内容は、本研究目的以外では一切使用いたしません。研修プログラムやアンケート・インタビューは研究として実施するものであり、保健師の皆様の評価などとは無関係です。研究で得られたデータは本研究の研究者のみが利用し、その他の者・機関に提供することはありません。
3. 地区活動カルテの使用前、使用後3か月、使用後6か月でのアンケートの回答内容を、結び付けて比較分析するため、アンケートには同一人物の回答であることを認識するための番号が記載されています。研究班のなかに認識番号の管理・保管のみを行う専属の担当者をおき、研究メンバーが対応表にアクセスできないようにいたします。
4. アンケートでは、次の内容（ご回答者の年代、性別、ご所属種別、資格、職位、経験年数、保健師活動や住民に対する保健師の意識。地区活動カルテを使用するグループについては、地区活動カルテについてのご意見）についてご回答をお願いします。得られたデータは質的・量的に分析します。

5. グループインタビューの内容は録音させていただきます。テープから記録を起す際にも匿名で行い、自治体名や施設名、個人のお名前が出ることは一切ありません。インタビュー実施後に研究協力を辞退された場合は、録音内容の逐語録からご本人の発言箇所を削除いたします。
6. 調査票とデータは ID 化し、無記名の調査票とデータを保存した電子媒体は、施錠できる場所に保管して厳重に管理し、研究成果公表後 5 年後に破棄いたします。
7. この研究の成果を活用していただくため、学会や学術雑誌で発表させていただきます。その際も、匿名性を確保いたします。

以上の内容をご理解いただき、本研究へのご協力いただける場合は、同封した同意書 2 通にご署名の上、1 通のみ、平成 30 年●月●日 (●) までに同封の返信用封筒にてご返送ください。もう 1 通はお手元に保管をお願いいたします。

研究計画および研究方法についてご不明な点やご質問などがございましたら、以下の研究責任者まで電話またはメールでご連絡ください。皆様の個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。研究に関するお問い合わせは下記の連絡先までお願いいたします。

本調査は聖路加国際大学研究倫理審査委員会での承認を受けて実施しております。【承認番号 (17-A106)】
本研究には利益相反に相当する事項はございません。

◇ 研究組織

〈研究代表者〉	麻原 きよみ	(聖路加国際大学大学院看護学研究科・教授)
	佐伯 和子	(前北海道大学大学院保健科学研究院・教授)
	大森 純子	(東北大学大学院医学系研究科保健学専攻・教授)
	永田 智子	(慶応義塾大学看護医療学部・教授)
	鶴飼 修	(滋賀県立大学地域共生センター・准教授)
	嶋津 多恵子	(国立看護大学校・教授)
	梅田 麻希	(兵庫県立大学地域ケア開発研究所・教授)
	川崎 千恵	(国立保健医療科学院・主任研究官)
	小西 美香子	(神奈川県横浜市・課長)
	佐川 きよみ	(東京都葛飾区・係長)
	須藤 裕子	(埼玉県小鹿野町・主査)
	小林 真朝	(聖路加国際大学大学院看護学研究科・准教授)
	三森 寧子	(聖路加国際大学大学院看護学研究科・准教授)
	永井 智子	(聖路加国際大学大学院看護学研究科・助教)
	江川 優子	(聖路加国際大学大学院看護学研究科・助教)
	米倉 佑貴	(聖路加国際大学大学院看護学研究科・助教)
	遠藤 直子	(国立看護大学校・助教)

平成 30 年度厚生労働科学研究費補助金 (健康安全・危機管理対策総合研究事業) 研究
地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発 (H28-健危-一般-003)

【研究責任者・お問い合わせ先】

聖路加国際大学大学院看護学研究科 公衆衛生看護学 麻原きよみ
〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1
Tel/Fax : 03-5550-2271 (直通)
e-mail: asahara@slcn.ac.jp

聖路加国際大学
学長 福井 次矢 殿

研究への参加・協力の同意確認書

私は、「地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発－保健活動ツールの試行と評価－」の研究について、説明文書を用いて説明を受け、研究の主旨や内容を理解し、この研究に参加・協力することに同意します。

日 付： 年 月 日

所属施設名： _____

研究参加者氏名（署名）： _____

研究者（署名）： _____

聖路加国際大学 研究倫理審査委員会承認番号【17-A106】

「地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発－保健活動ツールの試行と評価－」

【研究責任者・お問い合わせ先】

聖路加国際大学大学院看護学研究科 公衆衛生看護学 麻原きよみ

〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1

Tel/Fax : 03-5550-2271 (直通)

E-mail: asahara@slcn.ac.jp

聖路加国際大学
学長 福井 次矢 殿

研究協力断わり書

私は「地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発-保健活動ツールの試行と評価-」
についての研究協力を同意しましたが、この度、協力を中止することにしましたので、
通知します。

日付： 年 月 日

所属施設名： _____

氏名（署名）： _____

地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発-保健活動ツールの試行と評価-

自治体基礎情報調査票

問1 貴自治体名をご記入ください。

()

問2 貴自治体の組織体制等について、下記の表(回答方法について)をご参照の上、回答欄にご記入ください。

表 回答方法について

質問項目	回答
A 所属している常勤保健師の人数	○ 平成29年5月1日現在の人数をご記入ください。
B 組織体制	○ 以下の選択肢から該当する番号を1つ選択してください。 1 地区担当制のみ 2 地区担当制と業務担当制の併用 3 業務担当制のみ(業務内での地区割りあり) 4 業務担当制のみ(業務内での地区割りなし)
C 地区分割方法	○ 「B 組織体制」で、「1 地区担当制のみ」・「2 地区担当制と業務担当制の併用」と選択した場合のみ、ご回答ください。 ○ 以下の選択肢から該当する番号を1つ選択してください。 1 人口割(約 人) 2 行政区割(具体的:)※(例)小学校毎 3 人口を考慮した行政区割(具体的に:) (例)小学校区毎、1地区あたり人口〇〇人 4 その他(具体的に:) ※「1 人口割」・「3 人口を考慮した行政区割」の場合には、1地区あたりのおおよその人口を、選択肢の番号に加えて、回答欄にご記入ください。 ※「2 行政区割」・「3 人口を考慮した行政区割」・「4 その他」の場合には、具体的な方法を、選択肢の番号に加えて、回答欄にご記入ください。
D 平成25年度以降の組織体制の変更の有無	○ 以下の選択肢から該当する番号を1つ選択してください。 1 あり 2 なし
E 現在の体制のメリット	○ 以下の選択肢から該当する番号を選択してください(複数回答可)。「9 その他」の場合には、具体的に選択肢の番号に加えて、回答欄にご記入ください。 1 住民からの相談を受けやすい 2 地区のキーパーソン(自治会長等)からの相談を受けやすい 3 保健師が地区のキーパーソンや活用できる資源等を把握しやすい 4 保健師が地区へ出る機会(訪問指導、健康相談、健康教育及び地区組織等の育成等)を持ちやすい 5 保健師の業務負担が少ない(残業時間の減少等) 6 保健師間の情報共有の機会を持ちやすい

	7 他部署や他職種から保健師への相談がしやすい
	8 地区の関係機関（住民組織、企業、学校等）や関係者との連携がとりやすい
	9 その他（具体的に： _____）

回答欄

No	所属	A 所属している常勤保健師の人数(人)	B 組織体制	C 地区分割方法	D 平成25年度以降の組織体制の変更の有無	E 現在の体制のメリット
【記入例】 本庁（保健部門）		10	1・②・3・4	1・2・③・4 (小学校区毎、1地区当たり人口約2万人)	1・②	①・②・③・4・5・ ⑥・7・8・9 ()
1	本庁（保健部門）		1・2・3・4	1・2・3・4 ()	1・2	1・2・3・4・5・ 6・7・8・9 ()
2	本庁（保健福祉部門）		1・2・3・4	1・2・3・4 ()	1・2	1・2・3・4・5・ 6・7・8・9 ()
3	本庁（福祉部門）		1・2・3・4	1・2・3・4 ()	1・2	1・2・3・4・5・ 6・7・8・9 ()
4	本庁（医療部門）		1・2・3・4	1・2・3・4 ()	1・2	1・2・3・4・5・ 6・7・8・9 ()
5	本庁（介護部門）		1・2・3・4	1・2・3・4 ()	1・2	1・2・3・4・5・ 6・7・8・9 ()
6	本庁（国民健康保健部門）		1・2・3・4	1・2・3・4 ()	1・2	1・2・3・4・5・ 6・7・8・9 ()
7	本庁（職員の健康管理部門）		1・2・3・4	1・2・3・4 ()	1・2	1・2・3・4・5・ 6・7・8・9 ()
8	本庁（教育委員会等学校保健部門）		1・2・3・4	1・2・3・4 ()	1・2	1・2・3・4・5・ 6・7・8・9 ()

9	本庁（その他）		1・2・3・4	1・2・3・4 ()	1・2	1・2・3・4・5・6・7・8・9 ()
10	保健所（企画調整部門）		1・2・3・4	1・2・3・4 ()	1・2	1・2・3・4・5・6・7・8・9 ()
11	保健所（保健福祉部門）		1・2・3・4	1・2・3・4 ()	1・2	1・2・3・4・5・6・7・8・9 ()
12	保健所（介護保健部門）		1・2・3・4	1・2・3・4 ()	1・2	1・2・3・4・5・6・7・8・9 ()
13	市町村保健センター（保健部門）		1・2・3・4	1・2・3・4 ()	1・2	1・2・3・4・5・6・7・8・9 ()
14	市町村保健センター（保健福祉部門）		1・2・3・4	1・2・3・4 ()	1・2	1・2・3・4・5・6・7・8・9 ()
15	市町村保健センター（介護保健部門）		1・2・3・4	1・2・3・4 ()	1・2	1・2・3・4・5・6・7・8・9 ()
16	市町村保健センター（その他）		1・2・3・4	1・2・3・4 ()	1・2	1・2・3・4・5・6・7・8・9 ()
17	その他		1・2・3・4	1・2・3・4 ()	1・2	1・2・3・4・5・6・7・8・9 ()

※「所属」は保健師活動領域調査の所属区分に準じています

問3 貴自治体では、地区活動で得られた情報について共有していますか。該当するものを1つ選択してください。

- 1 各担当係内で共有している
- 2 各担当係が所属している課・部署内で共有している
- 3 保健師が所属する全ての課・部署で共有している
- 4 保健師が所属していない課・部署も含めた保健福祉部門全体で共有している
- 5 上記以上の範囲で共有している

問4 貴自治体では、保健師が地区活動を積極的に行っていると思いますか。該当するものを1つ選択してください。

- 1 大変そう思う
- 2 ややそう思う
- 3 どちらでもない 【→問6に進んでください】
- 4 ややそう思わない 【→問6に進んでください】
- 5 全くそう思わない 【→問6に進んでください】

問5 問4で「1 大変そう思う」、「2 ややそう思う」と回答した場合、地区活動を積極的に行うことができる要因は何ですか。該当するものを選択してください。「5 その他」の場合は具体的にご記入ください。(複数回答可)

- 1 地区診断を行う等して、地区の状況を的確に把握できているため
- 2 保健師間の情報共有が密に行われているため
- 3 地区の関係者・関係機関と、定期的に情報共有の機会を持つ等して、連携が図れているため
- 4 地区活動に専念できる部署(課・係等)があるため
- 5 その他(具体的に: _____)

問6 地区診断について伺います。

(1) 貴自治体では、保健師活動の一環として、定期的に地区診断を行っていますか。該当するものを1つ選択してください。

- 1 組織として行っている
- 2 組織として行っていないが、各保健師が必要に応じて行っている 【→問7に進んでください】
- 3 行っていない 【→問7に進んでください】

(2) (1)で「1 組織として行っている」と回答した場合、地区診断の実施及び結果の統合・共有をどのように行っていますか。該当するものを1つ選択してください。「5 その他」の場合は具体的にご記入ください。

- 1 各地区担当保健師(係等)が実施し、担当を超えて統合し、組織の地区診断として共有している
- 2 各業務担当保健師(係等)が実施し、担当を超えて統合し、組織の地区診断として共有している
- 3 各地区担当保健師(係等)と各業務担当保健師(係等)が、それぞれ実施し、担当を超えて統合し、組織の地区診断として共有している
- 4 地区診断を行っているが、担当保健師(係等)を超えて共有していない 【→問7に進んでください】
- 5 その他(具体的に: _____) 【→問7に進んでください】

(3) (2) で「1」または「2」、「3」と回答した場合、統合及び共有するのは誰ですか。該当するものを1つ選択してください。「5 統括的な役割を担う保健師」の場合は、所属部署をご記入ください。「6 上記以外の保健師」・「7 保健師以外」・「8 その他」の場合は、具体的にご記入ください。

- 1 各地区担当保健師（係等）
- 2 各業務担当保健師（係等）
- 3 各地区担当/各業務担当保健師をとりまとめている保健師
- 4 保健師全般に関わることをとりまとめている部署・系の保健師
- 5 統括的な役割を担う保健師（所属部署： _____）
- 6 上記以外の保健師（具体的に： _____）
- 7 保健師以外（具体的に： _____）
- 8 その他（具体的に： _____）

(4) (2) で「1」または「2」または「3」と回答した場合、共有する際に、地区診断の結果から事業計画への提案を行っていますか。

- 1 行っている
- 2 行っていない

問7 貴自治体では、地区診断の学習会や研修会を行っていますか。

- 1 行っている
- 2 行っていない

問8 貴自治体が属する都道府県や都道府県型保健所が実施する地区診断の学習会や研修会に、貴自治体の保健師は参加していますか。

- 1 参加している
- 2 学習会や研修会はあるが、参加していない
- 3 学習会や研修会の有無を把握していない
- 4 各保健師の参加状況を把握していない
- 5 学習会や研修会が開催されていない

問9 貴自治体では、自治体内で、保健師の地区活動のあり方について検討する機会がありますか。

- 1 ある
- 2 ない

問10 貴自治体では、保健師の地区活動のあり方について、属する都道府県（都道府県型保健所を含む）や周辺自治体と、検討する機会がありますか。

- 1 ある
- 2 ない

問 11 貴自治体では、毎年常勤保健師の活動項目別活動状況（※）を把握していますか。

※活動項目別活動状況は、保健師活動調査の調査項目に準じています。

- 1 保健師活動調査と同様の調査項目で把握している
- 2 保健師活動調査と異なる調査項目で把握している
- 3 把握していない

問 12 問 11 で「1 保健師活動調査と同様の調査項目で把握している」と回答した場合、平成 24 年度及び平成 28 年度の、常勤保健師 1 人あたりの平均活動時間数（※）をご記入ください。

常勤保健師 1 人あたりの平均活動時間数 (単位：時間)	総計	保健福祉事業					地区管理		コーディネーター
		計	うち 家庭訪問	うち 保健指導	うち 健康相談	うち 地区組織活動	計	うち 地区管理	
記入例	168.8	79.3	13.6	10.3	10.6	3.6	12.3	11.0	17.8
平成 24 年度									
平成 28 年度									

※常勤保健師の活動時間数の合計を、常勤保健師数で除したもの

ご回答ありがとうございました。

ID -

地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発
-保健活動ツールの試行と評価- (試行前)

I. あなたご自身について

問 1. あなたの年齢について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 20代	2. 30代	3. 40代	4. 50代	5. 60代	6. 70代以上
--------	--------	--------	--------	--------	----------

問 2. あなたの性別について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 女性	2. 男性
-------	-------

問 3. あなたの常勤保健師としての通算経験年数をお教えてください (休職期間は除く)。 _____年

問 4. あなたの職位について、当てはまる番号 1 つに○をしてください。

1. 部局長級	2. 次長級	3. 課長級	4. 課長補佐級
5. 係長級	6. 係員	7. その他 (具体的に : _____)	

II. 保健活動等について

問 1. あなたの所属における保健活動の体制について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

		あてはまる	あてはまる どちらかというと	あてはまらない どちらかというと	あてはまらない
1	所属する自治体全体として、保健活動と連携する地域/地区づくりの方針・体制がある	4	3	2	1
2	上司や統括的立場にある保健師に、保健活動についての明確な考えがある	4	3	2	1
3	保健師が、地域/地区を集団と捉えて保健活動を行うための研修を受ける機会がある	4	3	2	1
4	保健師が、地域/地区づくり活動に専念することができる体制がある	4	3	2	1
5	保健師の活動の拠点は、住民が来所する場所にある	4	3	2	1
6	保健師が、地域/地区の課題を他の保健師と共有する機会がある	4	3	2	1
7	保健師が、地域/地区の課題を他職種や関係機関と共有する機会がある	4	3	2	1
8	地区活動担当者の情報共有・相談の場として定期的なミーティングがある	4	3	2	1
9	保健師の定例会や研修会が行われている（部内会議、保健センター連絡会、エリア連絡会、事業ごとの連絡会議、支所構成職員との会議など）	4	3	2	1
10	保健師が、地域/地区活動について、上司や統括的/管理的立場の保健師と話し合える環境がある	4	3	2	1
11	保健師の活動が、所属機関の他職種から理解されている	4	3	2	1
12	日常的に保健師相互の情報共有・相談支援の機会がある	4	3	2	1
13	1つの地域/地区を主担当・副担当のように複数人で担当する体制がある	4	3	2	1
14	保健師は、自分の地域/地区の活動計画を立案している	4	3	2	1
15	保健師の地域/地区活動について、地域住民に対して広報、お知らせする機会がある	4	3	2	1

問 2. あなたは、現在 地区担当制で地区を担当していますか？（業務担当制との併用も含む）

1. はい	2. いいえ → 【問 5】に進んでください。
-------	-------------------------



問 3. 【問 2 で「はい」と回答された方へ】担当されている地区についてお教えてください。

1	受け持ち地区の数	地区
2	受け持ち地区全体の合計人口	人
3	上記のうちで最も大きい地区の人口	人

問 4. 【問 2 で「はい」と回答された方へ】地区担当制において行っているご自身の活動について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. ハイリスク対応（個別支援）	2. 地域のネットワークやケアシステムの構築（地域づくり）
3. その他（具体的に： _____）	

問 5. あなたは、現在 業務担当制で保健活動を行っていますか（地区担当制との併用も含む）。

1. はい	2. いいえ → 【問 8】に進んでください。
-------	-------------------------



問 6. 【問 5 で「はい」と回答された方へ】業務担当制において担当している業務（保健師活動領域調査における分類）を選んで、当てはまる番号すべてに○をつけてください。（複数回答可）

1. 精神保健業務	2. 難病業務	3. 感染症業務	4. 母子保健業務
5. 成人保健業務	6. 特定健診・特定保健指導		7. 介護保険業務
8. 高齢者保健業務			
9. その他（具体的に： _____）			

問 7. 【問 5 で「はい」と回答された方へ】業務担当制において行っているご自身の活動について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 業務管理のみ	2. ハイリスク対応（個別支援）
3. 地域のネットワークやケアシステムの構築（地域づくり）	
4. その他（具体的に： _____）	

問 8. あなたご自身の保健活動の方法について、当てはまるもの 1 つに○をつけてください。

		あてはまる	あてはまる どちらかというど	あてはまらない どちらかというど	あてはまらない
1	住民とつながるきっかけを意識してつくっている	4	3	2	1
2	あらゆる機会を通して地域/地区に出向くことを意識して行っている	4	3	2	1
3	住民と話し合いながら保健活動を進めている	4	3	2	1
4	あらゆる機会を通して住民の声を聞く努力をしている	4	3	2	1
5	住民から地域の情報を得ている	4	3	2	1
6	住民と一緒に地域/地区の課題を考えている	4	3	2	1
7	地域/地区の住民を集団として捉えている	4	3	2	1
8	地域/地区の特性（暮らし、文化、風習）を考えて活動している	4	3	2	1
9	地域/地区の特性（自然環境、地域資源）を考えて活動している	4	3	2	1
10	個人の課題から地域/地区の課題を見つけている	4	3	2	1
11	個人と地域/地区の両面から見ている	4	3	2	1
12	個人への支援を地域/地区活動に発展させている	4	3	2	1
13	住民や関係者と同じ目的を持っている	4	3	2	1
14	住民と一緒に活動している	4	3	2	1
15	地域/地区の将来の姿を考えて活動している	4	3	2	1
16	地区診断に基づいて、重点課題や活動方法の検討を行っている	4	3	2	1
17	保健師の存在や活動を地域住民に対してお知らせする努力をしている	4	3	2	1
18	保健師の地域/地区活動の成果を地域住民にお知らせする努力をしている	4	3	2	1

問 9. あなた自身の現在の考えについて、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

		あてはまる	どちらかという あてはまる	どちらかという あてはまらない	あてはまらない
1	私は保健師の活動が楽しい	4	3	2	1
2	私は保健師の仕事から達成感を得られる	4	3	2	1
3	私は保健師の仕事に満足している	4	3	2	1
4	私は住民と一緒に活動すれば、難しいことでも取り組む自信がある	4	3	2	1
5	私は地域/地区への愛着がある	4	3	2	1
6	私は地域/地区を知ることができる喜びを感じる	4	3	2	1
7	私は地域/地区の住民に対して何ができるか、常に考えている	4	3	2	1
8	私は住民とつながることができてうれしい	4	3	2	1
9	私は住民の力を信じることができる	4	3	2	1
10	私は住民から頼りにされる	4	3	2	1
11	私は住民と相談し合える関係である	4	3	2	1
12	私はいつでも住民とともにある存在である	4	3	2	1
13	地域/地区の住民の間につながりができていると思う	4	3	2	1
14	住民の活動が活発であると思う	4	3	2	1

問 10. あなたの現在の保健活動を振り返って、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

		非常に 意識する	やや 意識する	どちらとも いえない	あまり 意識しない	まったく 意識しない
1	住民がどうしたいのかを考えて判断する	5	4	3	2	1
2	住民にとって何がベストなのかを考えて判断する	5	4	3	2	1
3	住民が大切にしていることを考えて判断する	5	4	3	2	1
4	住民の思いや価値観を優先して判断する	5	4	3	2	1
5	住民にとって自分の支援が正しいか判断する	5	4	3	2	1

問 11. あなたの考えにもっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

		あてはまる	ややあてはまる	どちらとも いえない	あまり あてはまらない	あてはまらない
1	私は必要とされる時、保健師の知識を生かせる	5	4	3	2	1
2	私は保健師として培ってきた能力が今の仕事に生きている	5	4	3	2	1
3	私は必要とされる時、保健師の技術が発揮できる	5	4	3	2	1
4	私は住民を理解することができると感じるときがある	5	4	3	2	1
5	私は保健師のあり方について自分なりの考えを持っている	5	4	3	2	1
6	私は保健師として仕事をすることに自信がある	5	4	3	2	1
7	私は地域の健康課題を解決することができると感じるときがある	5	4	3	2	1
8	私は住民の役に立つことができる	5	4	3	2	1
9	私は職場から良い評価をされていると感じる	5	4	3	2	1
10	私は住民や関係機関の橋渡しになっていると感じる	5	4	3	2	1
11	私は保健師活動を良くするための将来像をもっている	5	4	3	2	1
12	私は住民に必要とされていると感じる	5	4	3	2	1
13	私はもっと保健師としての技術を磨きたい	5	4	3	2	1
14	私は保健師としての理想をもっている	5	4	3	2	1
15	私はもっと保健師として役立つ勉強がしたい	5	4	3	2	1
16	私は専門職業意識をもっている	5	4	3	2	1
17	保健師には独自の能力がある	5	4	3	2	1
18	私は保健師の仕事に誇りを持っている	5	4	3	2	1
19	皆が関心を持つ健康に携わる保健師の仕事は自分にとって誇らしいと思う	5	4	3	2	1
20	私は常に保健師としての自覚を持っている	5	4	3	2	1

地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発-保健活動ツールの試行と評価-

保健活動に関するアンケート (半年後)

問 1. あなたの所属における保健活動の体制について当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

		あてはまる	あてはまる どちらかという と	あてはまらない どちらかという と	あてはまらない
1	所属する自治体全体として、保健活動と連携する地域/地区づくりの方針・体制がある	4	3	2	1
2	上司や統括的立場にある保健師に、保健活動についての明確な考えがある	4	3	2	1
3	保健師が、地域/地区を集団と捉えて保健活動を行うための研修を受ける機会がある	4	3	2	1
4	保健師が、地域/地区づくり活動に専念することができる体制がある	4	3	2	1
5	保健師の活動の拠点は、住民が来所する場所にある	4	3	2	1
6	保健師が、地域/地区の課題を他の保健師と共有する機会がある	4	3	2	1
7	保健師が、地域/地区の課題を他職種や関係機関と共有する機会がある	4	3	2	1
8	地区活動担当者の情報共有・相談の場として定期的なミーティングがある	4	3	2	1
9	保健師の定例会や研修会が行われている (部内会議、保健センター連絡会、エリア連絡会、事業ごとの連絡会議、支所構成職員との会議など)	4	3	2	1
10	保健師が、地域/地区活動について、上司や統括的/管理的立場の保健師と話し合える環境がある	4	3	2	1
11	保健師の活動が、所属機関の他職種から理解されている	4	3	2	1
12	日常的に保健師相互の情報共有・相談支援の機会がある	4	3	2	1
13	1 つの地域/地区を主担当・副担当のように複数人で担当する体制がある	4	3	2	1
14	保健師は、自分の地域/地区の活動計画を立案している	4	3	2	1
15	保健師の地域/地区活動について、地域住民に対して広報、お知らせする機会がある	4	3	2	1

問 2. あなたご自身の保健活動の方法について、当てはまるもの 1 つに○をつけてください。

		あてはまる	あてはまる どちらかというど	あてはまらない どちらかというど	あてはまらない
1	住民とつながるきっかけを意識してつくっている	4	3	2	1
2	あらゆる機会を通して地域/地区に出向くことを意識して行っている	4	3	2	1
3	住民と話し合いながら保健活動を進めている	4	3	2	1
4	あらゆる機会を通して住民の声を聞く努力をしている	4	3	2	1
5	住民から地域の情報を得ている	4	3	2	1
6	住民と一緒に地域/地区の課題を考えている	4	3	2	1
7	地域/地区の住民を集団として捉えている	4	3	2	1
8	地域/地区の特性（暮らし、文化、風習）を考えて活動している	4	3	2	1
9	地域/地区の特性（自然環境、地域資源）を考えて活動している	4	3	2	1
10	個人の課題から地域/地区の課題を見つけている	4	3	2	1
11	個人と地域/地区の両面から見ている	4	3	2	1
12	個人への支援を地域/地区活動に発展させている	4	3	2	1
13	住民や関係者と同じ目的を持っている	4	3	2	1
14	住民と一緒に活動している	4	3	2	1
15	地域/地区の将来の姿を考えて活動している	4	3	2	1
16	地区診断に基づいて、重点課題や活動方法の検討を行っている	4	3	2	1
17	保健師の存在や活動を地域住民に対してお知らせする努力をしている	4	3	2	1
18	保健師の地域/地区活動の成果を地域住民にお知らせする努力をしている	4	3	2	1

問3. あなた自身の現在の考えについて、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

		あてはまる	どちらかという あてはまる	どちらかという あてはまらない	あてはまらない
1	私は保健師の活動が楽しい	4	3	2	1
2	私は保健師の仕事から達成感を得られる	4	3	2	1
3	私は保健師の仕事に満足している	4	3	2	1
4	私は住民と一緒に活動すれば、難しいことでも取り組む自信がある	4	3	2	1
5	私は地域/地区への愛着がある	4	3	2	1
6	私は地域/地区を知ることができる喜びを感じる	4	3	2	1
7	私は地域/地区の住民に対して何ができるか、常に考えている	4	3	2	1
8	私は住民とつながることができてうれしい	4	3	2	1
9	私は住民の力を信じることができる	4	3	2	1
10	私は住民から頼りにされる	4	3	2	1
11	私は住民と相談し合える関係である	4	3	2	1
12	私はいつでも住民とともにある存在である	4	3	2	1
13	地域/地区の住民の間につながりができていると思う	4	3	2	1
14	住民の活動が活発であると思う	4	3	2	1

問4. あなたの現在の保健活動を振り返って、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

		非常に 意識する	やや 意識する	どちらとも いえない	あまり 意識しない	まったく 意識しない
1	住民がどうしたいのかを考えて判断する	5	4	3	2	1
2	住民にとって何がベストなのかを考えて判断する	5	4	3	2	1
3	住民が大切にしていることを考えて判断する	5	4	3	2	1
4	住民の思いや価値観を優先して判断する	5	4	3	2	1
5	住民にとって自分の支援が正しいか判断する	5	4	3	2	1

問 5. あなたの考えにもっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

		あてはまる	ややあてはまる	どちらとも いえない	あまり あてはまらない	あてはまらない
1	私は必要とされる時、保健師の知識を生かせる	5	4	3	2	1
2	私は保健師として培ってきた能力が今の仕事に生きている	5	4	3	2	1
3	私は必要とされる時、保健師の技術が発揮できる	5	4	3	2	1
4	私は住民を理解することができると感じるときがある	5	4	3	2	1
5	私は保健師のあり方について自分なりの考えを持っている	5	4	3	2	1
6	私は保健師として仕事をすることに自信がある	5	4	3	2	1
7	私は地域の健康課題を解決することができると感じるときがある	5	4	3	2	1
8	私は住民の役に立つことができる	5	4	3	2	1
9	私は職場から良い評価をされていると感じる	5	4	3	2	1
10	私は住民や関係機関の橋渡しになっていると感じる	5	4	3	2	1
11	私は保健師活動を良くするための将来像をもっている	5	4	3	2	1
12	私は住民に必要とされていると感じる	5	4	3	2	1
13	私はもっと保健師としての技術を磨きたい	5	4	3	2	1
14	私は保健師としての理想をもっている	5	4	3	2	1
15	私はもっと保健師として役立つ勉強がしたい	5	4	3	2	1
16	私は専門職業意識をもっている	5	4	3	2	1
17	保健師には独自の能力がある	5	4	3	2	1
18	私は保健師の仕事に誇りを持っている	5	4	3	2	1
19	皆が関心を持つ健康に携わる保健師の仕事は自分にとって誇らしいと思う	5	4	3	2	1
20	私は常に保健師としての自覚を持っている	5	4	3	2	1

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

ID —

地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発-保健活動ツールの試行と評価- アンケート(中間時点)

I. 地区活動カルテについて、お尋ねします。

(5段階のうち最もあてはまるところに○をつけ、その理由をお書きください)

1. 地区活動カルテの構成はわかりやすいと思いますか？

全くそう思わない 1—2—3—4—5 全くそう思う

理由

2. 地区活動カルテを日常の保健活動でも継続して使用したいと思いますか？

全くそう思わない 1—2—3—4—5 全くそう思う

理由

3. 地区活動カルテのなかで、どのシートが日頃の地区活動に役立つと思いますか？

(あてはまるものを○で囲んでください。複数回答可。)

1. フェイスシート
2. 日々の記録
3. サマリーシート

理由

II. フェイスシートについてお尋ねします。

1. フェイスシートの内容は全体的に適切だと思いますか？

全くそう思わない 1—2—3—4—5 全くそう思う

理由

2. フェイスシートの各項目についてお尋ねします。

当てはまる番号に○をし、ご意見欄には気づいた点や改善点をお書きください。

項目	①項目の わかりやすさ			②項目の重要度					③項目の 書きやすさ			ご意見	
	分 か り に く い	普 通	分 か り や す い	全 く 重 要 で は な い	あ ま り 重 要 で な い	普 通	重 要	非 常 に 重 要	書 き に く い	普 通	書 き や す い		
1	地区の目標・理念	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
2	成り立ち	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
3	地理的特徴	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
4	住民の構成	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
5	健康状態とくらし	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
6	文化と社会関係	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
7	主要な人的・組織資源	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
8	主要な健康関連資源	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
9	その他	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
10	他に必要だと思う項目 【 】	/			1	2	3	4	5	/			
11	他に必要だと思う項目 【 】	/			1	2	3	4	5	/			

3. フェイスシートの「メモ」には、どのような内容を記載しましたか？

Ⅲ. 日々の記録についてお尋ねします。

1. 日々の記録の内容は全体的に適切だと思いますか？

全くそう思わない **1—2—3—4—5** 全くそう思う

理由

2. 日々の記録の項目はわかりやすいと思いますか？

全くそう思わない **1—2—3** 全くそう思う

理由

3. 日々の記録の項目は重要だと思いますか？

全くそう思わない **1—2—3—4—5** 全くそう思う

理由

4. 日々の記録の項目は書きやすいと思いますか？

全くそう思わない **1—2—3** 全くそう思う

理由

5. 日々の記録の「地区に関する気づき」には、どのような内容を記載しましたか？

IV. サマリーシートについてお尋ねします。

1. サマリーシートの内容は全体的に適切だと思いますか？

全くそう思わない 1—2—3—4—5 全くそう思う

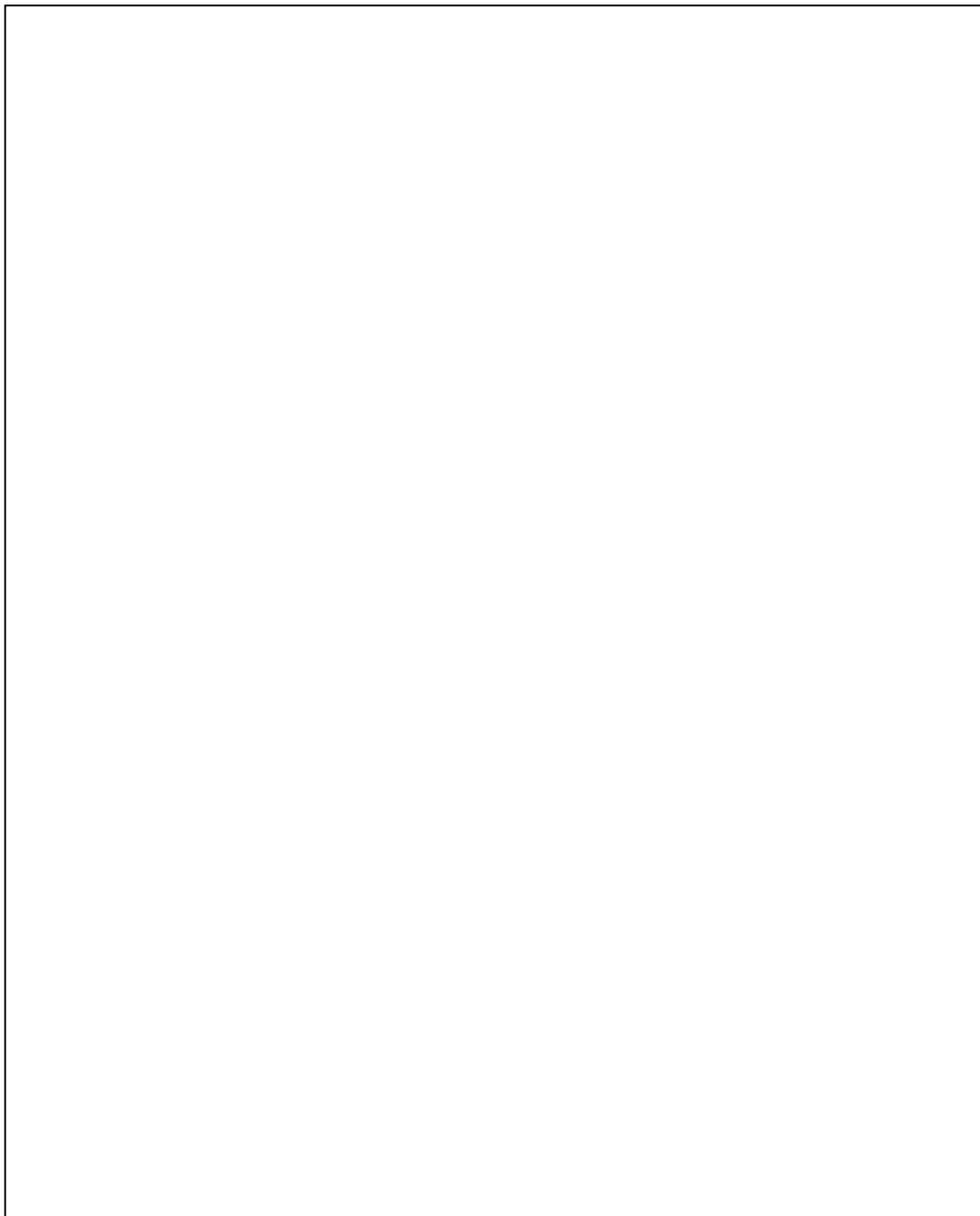
理由

2. サマリーシートの各項目についてお尋ねします。

当てはまる番号に○をし、ご意見欄には気づいた点や改善点をお書きください。

項目	①項目の わかりやすさ			②項目の重要度					③項目の 書きやすさ			ご意見
	分 か り に く い	普 通	分 か り や す い	全 く 重 要 で は な い	あ ま り 重 要 で な い	普 通	重 要	非 常 に 重 要	書 き に く い	普 通	書 き や す い	
1 地区の目標・理念	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
2 自治体の理念・将来像	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
3 要約（アセスメント）	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
4 地区の人々が活用する健康関連資源や環境	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
5 課題	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
6 課題の位置づけ	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
7 短期目標	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
8 今年度の計画	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
9 〈評価〉実施したこと	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
10 〈評価〉改善したこと	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
11 他に必要だと思う項目 【 】	/			1	2	3	4	5	/			
12 他に必要だと思う項目 【 】	/			1	2	3	4	5	/			

VI. 地区活動カルテ全般について、気づいたことをお書きください。



アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

ID —

地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発-保健活動ツールの試行と評価-

地区活動カルテに関するアンケート（半年後）

I. 地区活動カルテについて、お尋ねします。

(5 段階のうち最もあてはまるところに○をつけ、その理由をお書きください)

1. 地区活動カルテの構成はわかりやすいと思いますか？

全くそう思わない 1—2—3—4—5 全くそう思う

理由

2. 地区活動カルテを日常の保健活動でも継続して使用したいと思いますか？

全くそう思わない 1—2—3—4—5 全くそう思う

理由

3. 地区活動カルテのなかで、どのシートが日頃の地区活動に役立つと思いますか？

(あてはまるものを○で囲んでください。複数回答可。)

1. フェイスシート
2. 日々の記録
3. サマリーシート

理由

II. フェイスシートについてお尋ねします。

1. フェイスシートの内容は全体的に適切だと思いますか？

全くそう思わない 1—2—3—4—5 全くそう思う

理由

2. フェイスシートの各項目についてお尋ねします。

当てはまる番号に○をし、ご意見欄には気づいた点や改善点をお書きください。

項目	①項目の わかりやすさ			②項目の重要度					③項目の 書きやすさ			ご意見	
	分 か り に く い	普 通	分 か り や す い	全 く 重 要 で は な い	あ ま り 重 要 で な い	普 通	重 要	非 常 に 重 要	書 き に く い	普 通	書 き や す い		
1	地区の目標・理念	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
2	成り立ち	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
3	地理的特徴	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
4	住民の構成	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
5	健康状態とくらし	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
6	文化と社会関係	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
7	地区内の主要な人的・ 組織資源	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
8	地区の人が活用する 主要な健康関連資源	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
9	その他	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
10	他に必要だと思う項目 【 】	/			1	2	3	4	5	/			
11	他に必要だと思う項目 【 】	/			1	2	3	4	5	/			

3. フェイスシートの「メモ」には、どのような内容を記載しましたか？

Ⅲ. 日々の記録についてお尋ねします。

1. 日々の記録の内容は全体的に適切だと思いますか？

全くそう思わない **1—2—3—4—5** 全くそう思う

理由

2. 日々の記録の項目はわかりやすいと思いますか？

全くそう思わない **1—2—3** 全くそう思う

理由

3. 日々の記録の項目は重要だと思いますか？

全くそう思わない **1—2—3—4—5** 全くそう思う

理由

4. 日々の記録の項目は書きやすいと思いますか？

全くそう思わない **1—2—3** 全くそう思う

理由

5. 日々の記録の「地区に関する気づき」には、どのような内容を記載しましたか？

IV. サマリーシートについてお尋ねします。

1. サマリーシートの内容は全体的に適切だと思いますか？

全くそう思わない 1—2—3—4—5 全くそう思う

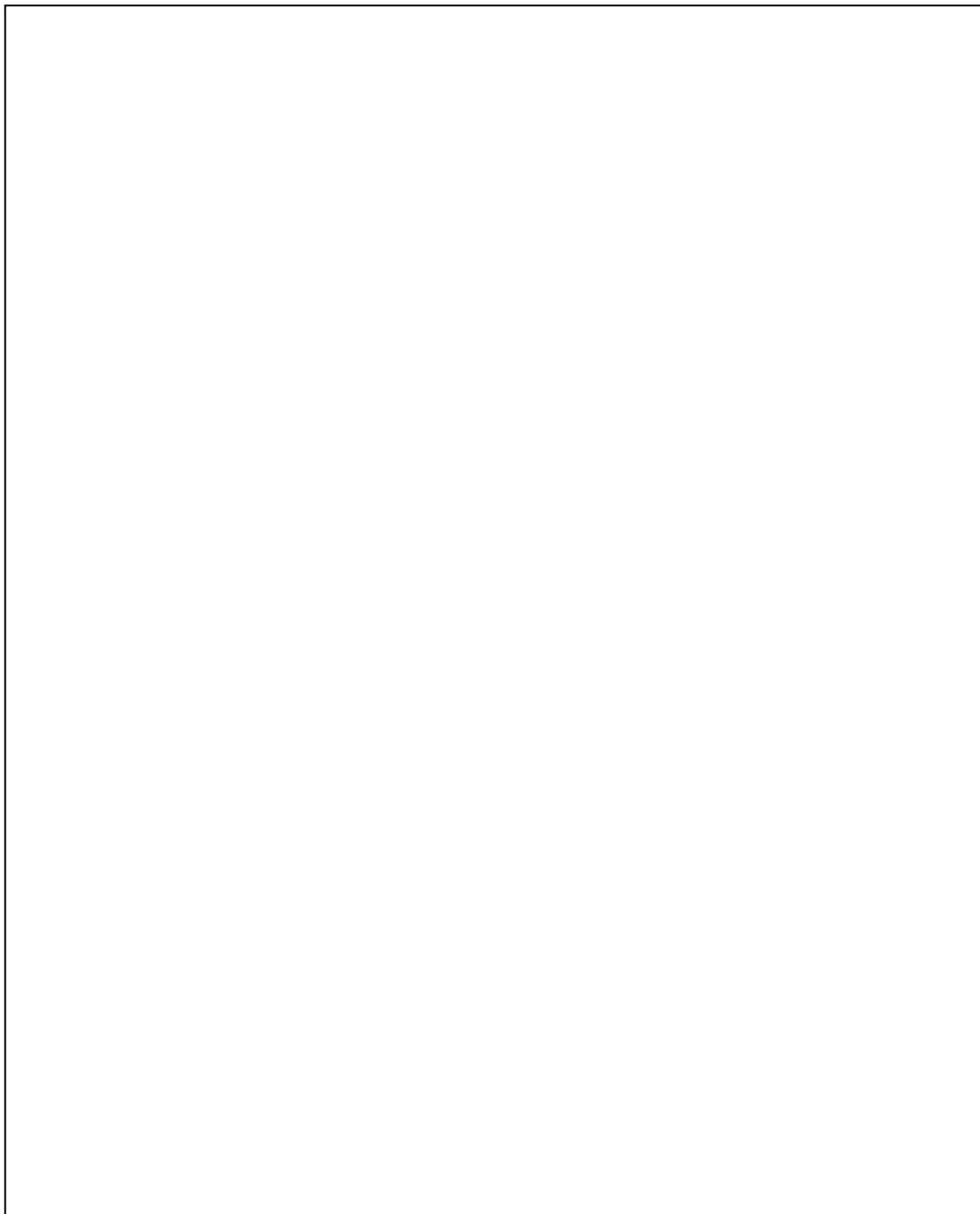
理由

2. サマリーシートの各項目についてお尋ねします。

当てはまる番号に○をし、ご意見欄には気づいた点や改善点をお書きください。

項目	①項目の わかりやすさ			②項目の重要度					③項目の 書きやすさ			ご意見	
	分 か り に く い	普 通	分 か り や す い	全 く 重 要 で は な い	あ ま り 重 要 で な い	普 通	重 要	非 常 に 重 要	書 き に く い	普 通	書 き や す い		
1	地区の目標・理念	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
2	自治体の理念・将来像	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
3	要約（アセスメント）	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
4	地区の人々が活用する健康関連資源や環境	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
5	課題	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
6	課題の位置づけ	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
7	短期目標	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
8	今年度の計画	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
9	〈評価〉実施したこと	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
10	〈評価〉改善したこと	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
11	次年度の健康課題	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	
12	他に必要だと思う項目 【 】	/			1	2	3	4	5	/			
13	他に必要だと思う項目 【 】	/			1	2	3	4	5	/			

VI. 地区活動カルテ全般について、気づいたことをお書きください。



アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

グループインタビューガイド（所要時間 20 分）

はじめに

- ・ 研究参加への感謝・ねぎらい
- ・ 参加者がくつろぎ、自由に会話出来る雰囲気を作る
- ・ グループインタビューは録音されるが、逐語録の段階から個人名は特定されないことの説明
- ・ 自由に感じたことを話してもらい、それぞれ個人の意見が重要であることを強調する。
- ・ この討議で話し合いたいこと(グループインタビューのテーマ)を明確に伝える。

テーマ1 地区活動カルテの使用を通して地区活動について考えたこと

「保健活動ツール「地区活動カルテ」を使用してみて、ご自身が日頃の地区活動について感じたことや考えたことや印象に残ったことについて話し合ひましょう。」

テーマ2 地区活動カルテについて

「この保健活動ツール「地区活動カルテ」を使用してみて、どのようなところが良いと感じましたか？また、どのようなところが使いづらいと感じましたか？ 地区活動カルテを書く際の工夫や気づいた点について話し合ひましょう。」

本報告書は平成 28 年度～30 年度において、
厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）を受け実施した研究
「地域特性に応じた保健活動推進のためのガイドラインの開発」の成果である。